

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型事業所ひまわりのもり				公表日	令和7年 12月 3日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		発達支援室は活動に合わせたスペースを確保出来る広さがある為、状況に応じて仕切り活動している		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4				法令に従った配置が出来ている 有給が取得しやすい環境づくりが必要
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		玄関から発達支援室、個別活動室、トイレ等利用者様が移動する全ての空間で段差がないよう配慮している		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		支援開始前に清掃や支援教材の準備・整頓を行い、その日の活動に合わせた仕切りや机の配置にしている		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		状況により個別活動室での活動ができるようしている 発達支援室でも仕切りで構造化することにより、個別活動が出来るよう配慮している		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		キャリアパスで対応		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		保護者評価を年2回実施し保護者の意向を把握した上で、業務改善に繋げていく様努めている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		朝礼にてその日の活動や利用者様についての情報共有をする事で支援の統一を行い、教務改善に繋げている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4			第三者評価の実施なし
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		事業所内研修は定期的におこなっている 外部研修は可能な限り参加している	外部研修への参加機会をもっと増やしていく	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		ホームページで公表している		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		契約時と更新毎の保護者様へのアセスメントで利用者様の状況把握を行って、計画書を作成している		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		職員間で情報共有し、利用者様にとって何が必要で何が最善かを検討した上で放課後等デイサービス計画書の作成を行っている		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		放課後等デイサービス計画書は常に確認できるようにしており、計画書に沿った支援を行っている		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		事業所で精査したアセスメントツールを用いている。発達センター等の診断書や検査結果の情報と日々の支援での行動観察で得た情報で利用者様の適応行動把握に努めている		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		放課後等デイサービスガイドラインが定める【提供すべき支援】に沿った支援内容を踏まえ、放課後等デイサービス計画書に反映している		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		職員間で利用者様の現状を共有し、必要な活動を取り入れている		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		職員間で都度検討し利用者様の特性や状況に応じて変更を加えている		

適切な支援の提供	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		利用者様の発達状況に合わせて個別活動と集団活動を組み合わせ放課後等デイサービス計画書を作成し支援している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		朝礼にてその日の利用者様についての支援方法や配慮点の確認を行った上で支援している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		夕礼にて利用者様の様子について情報交換を行い、支援の振り返りをする事で次回利用時の支援に繋げている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		記入漏れや情報共有漏れがないか都度確認作業を行っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		定期的にモニタリングを行い、利用者様の状況や保護者様の要望で計画の見直しが必要な場合には適宜対応している	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	4			基本活動の地域交流については、長期休み時に交流の機会が持てないか検討
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		日々の支援活動の中で自己選択の流れを作っている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		児童発達支援管理責任者と療育に関わる支援職員が同席し、情報共有するようにしている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		必要に応じて関係機関と連係している	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		学校から定期的に行事等のお知らせを頂き毎日の送迎で担任と送迎職員間で情報交換し持ち帰った情報は必ず共有している	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。			現在該当者なし	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。			現在該当者なし。要望がある場合は情報提供できる体制を取っている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。			発達センター受診後は保護者様に診療記録の提供を頂き情報共有している	発達センター主催の研修等があれば参加ていきたい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		4		利用者様ご本人の発達支援の充実を希望される保護者様が多く、児童クラブ等との交流は現在の所ない
保護者への説明等	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	4		地域の子どもふくし協議会の研修や定例会には積極的に参加している	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		連絡帳や送迎時にその日の様子を伝え、家庭での様子の確認もしている。また必要時には時間を設け、情報交換を行っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4	現在ペアレントトレーニングは行っていないが、相談があった場合は個別対応し必要な助言と情報提供を行っている	地域の農福マルシェ等、就労関係の取り組みへの案内も積極的に行う
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		運営規定については契約時に書面を用いて必要な説明を行っている 支援プログラムについてはホームページに掲載し、案内文書の配布もしている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		利用者様と保護者様のニーズを踏まえた放課後等デイサービス計画を作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		放課後等デイサービス計画の内容を説明する機会を設け、保護者様の同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		保護者様から相談等があった場合は都度対応、必要な支援と助言を行っている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4			保護者会等は未実施
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		4		マニュアルの整備と苦情についての相談窓口を設け苦情対応の体制を整えている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		4		定期的にひまわりだよりを作成、配布し情報発信している ホームページのブログ更新に努め、日々の支援活動の様子がわかる写真を保護者様にLINEで送付している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		4		個人情報に係る書類等は全て鍵付き書庫で保管し、破棄する書類については粉碎後破棄する等情報漏洩がない様にしている。職員については、業務上知り得た情報を担当者会議等の情報共有が必要な場合を除き口外しないよう周知している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		4		お便りは分かりやすい文言で記載し、日々の活動の動画や写真を提供し支援の見える化に努めている。また利用者様の特性に合った声掛けをするよう心がけている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4			新興住宅地が多い地域という事もあり近隣住民との接点がほとんどない為、関わりを持つ機会がない事が課題
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		4		安全計画の中で全ての訓練や研修を計画して実施し、更に計画になかった訓練も追加して行っている。保護者様には安全計画を配布し訓練の様子をお便りでも周知、職員には研修や訓練実施後に回覧で内容の確認・周知を行っている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		4		研修と訓練を実施し、BCPの見直しも行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		4		健康状態の把握を行い、服薬がある利用者様については内容変更があった場合はお薬手帳提出と変更理由を知らせて頂く様にしている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。				現在該当者なし。今後アレルギーについての指示書等が出た場合は必要な対応をとる	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		4		安全計画にて、安全管理に必要な研修や訓練の統括・管理をし支援に活かしている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		4		安全計画を全保護者様に配布し、取組内容について周知を図っている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		4		ヒヤリハットは共有し、会議等で内容を精査し、必要な対応策を講じている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		4		外部・内部研修にて虐待を防止するために必要な方策について学び意識を高めるようにしている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		4		現在該当者なし。該当者が出了場合は虐待・身体拘束等の適正化委員会にて必要性の検討を行う体制づくりをしている	